

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 業務運営体制の確立

- (1) 理事会を中心とした組織体制の整備、病院長の権限強化等
- (2) 本部事務局体制の整備
- (3) 病院事務室の機能強化
- (4) 業務改善に取り組む風土づくり

中期目標	市立病院機構は、中期目標、中期計画に掲げる目標、取組の達成を目指し、自律的、機動的な病院運営を行うこと。そのため、理事会を中心とした組織体制を整備するとともに、市立病院機構内で適切な権限配分を行い、各病院長のリーダーシップの下、迅速で的確な意思決定ができるようにすること。また、職員の積極的な経営参画意識を高め、業務改善に取り組む風土を醸成すること。		
年度計画	評価理由等	記号	

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 業務運営体制の確立(大項目) 中期目標、中期計画に掲げる目標、取組の達成を目指し、市立病院機構の運営を自律的、機動的に行うため、次のことに取り組みます。	1 業務運営体制の確立(大項目)				
<u>(1) 理事会を中心とした組織体制の整備、病院長の権限強化等(小項目)</u> 市立病院機構が自律的、機動的な病院運営を行うため、理事会を中心とした組織体制を整備します。また、病院長のリーダーシップの下で、各病院の実情を踏まえた自主的な病院運営が迅速かつ的確に行えるよう、病院長の権限強化や、説明責任の徹底などの責任の明確化を図ります。	<u>(1) 理事会を中心とした組織体制の整備、病院長の権限強化等(小項目)</u> ・理事会を中心とした組織体制の整備 ・病院長の権限強化と説明責任の徹底等	<p>【理事会を中心とした組織体制の整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に理事会を開催し（6回）、法人の経営方針等の検討、規程の改正等について審議した。 ○ 毎月、各病院長が出席する経営会議において、市立病院機構の主要な課題等について協議、検討するとともに、理事長が毎月各病院を訪問し、病院の現状把握を行った。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
(2) 本部事務局体制の整備（小項目） 市立病院の病院機能の向上、経営改善に係る課題分析や対応策の企画立案が、迅速かつ的確に行える本部事務局体制の整備を行います。	(2) 本部事務局体制の整備（小項目） ・迅速かつ的確な事務処理が行える効率的な事務局体制の構築	【効率的な事務局体制の構築】 ○ 病院の看護業務について、専門的な立場から適宜、助言及び指導を行う看護総合アドバイザー1名の配置を継続した。	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
(3) 病院事務室の機能強化（小項目） 職員の増員や組織の再編、病院経営や医療事務に係る専門知識を有する職員の確保など、各病院の運営を支える病院事務室の機能強化を図ります。	(3) 病院事務室の機能強化（小項目） ・病院経営に精通した人材の民間等からの採用 ・組織の再編の実施（係制の導入、プロパー化の促進）	【病院経営に精通した人材の民間等からの採用】 ○ 平成 28 年度は、病院勤務経験のある者が含まれなかつたが、病院経営に精通した人材を育成するため、プロパー事務職員 9 名を採用した。 ○ 医療事務に係る専門知識を有している職員を確保するため、医事業務の管理職としての勤務経験がある者の採用試験を行った(平成 29 年 4 月 1 日付け採用 1 名)。 【組織の再編の実施】 ○ 安佐市民病院について、事務室の係内の命令、責任の系統を明確にするため、2 係から 4 係とした。	3	病院経営に精通した人材の採用は行えていないものの、組織の再編やプロパー職員化を進めており、全体としては年度計画を順調に実施していると認められるため、「3」と評価した。	3
(4) 業務改善に取り組む風土づくり（小項目） 経営状況や業務運営上の課題等について、常に問題意識を持ち、その改善に取り組もうとする組織風土を醸成するとともに、業務運営の改善や効率化について提案しやすい仕組みを検討します。	(4) 業務改善に取り組む風土づくり（小項目） ・職員の病院経営への参画意識の醸成 ・職員提案の仕組みづくり	【職員の病院経営への参画意識の醸成等】 ○ 経営改善アイディアを募集し、優秀なアイディア 7 件を理事長奨励賞として表彰した。 ○ 平成 28 年 10 月には、収支改善アイディアを募集し、収支の改善が早期に見込まれ、その効果が大きいと考えられるものについて、実現できるよう検討を進めた。 ○ 各病院の収支状況については、随時、部長会等で説明し、職員への周知、意識啓発を図った。	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 人材の確保、育成

(1) 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保

中期目標	病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応するため、多様な採用方法・雇用形態を取り入れ、必要な時に必要な医療スタッフ等の人材を確保すること。		
------	---	--	--

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価																																																																								
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号																																																																						
2 人材の確保、育成（大項目） (1) 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保 収支への影響も踏まえながら、積極的に組織や人員体制の見直しを行い、病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保に取り組みます。	2 人材の確保、育成（大項目） (1) 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保																																																																										
ア 診療体制の拡充（小項目） 業務の量や質に応じた適切な人員配置を行い、診療・看護体制の充実や医療スタッフの負担軽減を図ります。	ア 診療体制の拡充（小項目） ・診療体制を強化するための医療スタッフの再編	<p>【医療スタッフの再編】</p> <p>○ 診療体制を強化するため、医療スタッフを42名増員した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">(定員増の内訳)</th> <th>(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>職種</th> <th>広島市民病院</th> <th>安佐市民病院</th> <th>舟入市民病院</th> <th>リハビリテーション病院</th> <th>合計</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>5</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療相談員</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21</td> <td>18</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>42</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(定員増の内訳)						(単位：人)	職種	広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院	合計		医師	—	1	—	—	1		看護師	3	12	1	—	16		薬剤師	7	2	1	—	10		診療放射線技師	4	2	—	—	6		理学療法士	5	—	1	—	6		作業療法士	2	—	—	—	2		医療相談員	—	1	—	—	1		合計	21	18	3	—	42		3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
(定員増の内訳)						(単位：人)																																																																					
職種	広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院	合計																																																																						
医師	—	1	—	—	1																																																																						
看護師	3	12	1	—	16																																																																						
薬剤師	7	2	1	—	10																																																																						
診療放射線技師	4	2	—	—	6																																																																						
理学療法士	5	—	1	—	6																																																																						
作業療法士	2	—	—	—	2																																																																						
医療相談員	—	1	—	—	1																																																																						
合計	21	18	3	—	42																																																																						

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価			評価委員会による評価									
	年度計画	評価理由等		記号	評価理由・コメント等	記号								
		<p>実施し、通常の試験を含め年度中途で 10 人採用した。医療技術職については、年度当初の欠員を解消するため、5 月に採用試験を実施し、臨床検査技師 2 人、理学療法士 1 人、臨床工学技士 1 人を採用した。</p> <p>(看護師の中途採用者数) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>採用時期</th><th>採用者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 28 年 7 月</td><td>8</td></tr> <tr> <td>平成 28 年 10 月</td><td>2</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	採用時期	採用者数	平成 28 年 7 月	8	平成 28 年 10 月	2	合 計	10				
採用時期	採用者数													
平成 28 年 7 月	8													
平成 28 年 10 月	2													
合 計	10													
<u>イ 医療支援センター等の体制強化（小項目）</u> 地域の医療機関等との連携強化、患者・家族に対する相談支援機能の強化のため、専門職員の増員等により医療支援センター等の体制を強化します。	<u>イ 医療支援センター等の体制強化（小項目）</u> ・入院支援室の設置（安佐市民病院）	<p>【入院支援室の設置】</p> <p>○ 安佐市民病院では、入院手続、術前検査予約等の一元化を進めることで入院患者の利便性の向上、医師・病棟看護師の負担軽減を図るため、平成 28 年 4 月に入院センターを開設し、産婦人科、小児科、精神科以外の全ての科での対応ができるよう運営を開始した。</p>	4	対象とする診療科を拡大したこととで各診療科の負担軽減や多くの患者の利便性の向上につながっており、年度計画を上回って実施しているため、「4」と評価した。	4									

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
<u>ウ 多様な採用方法と雇用形態の導入（小項目）</u> ・新規採用に加え、経験者採用の拡大、退職者の再任用・再雇用の活用などにより、迅速、柔軟な人材確保を進めます。 ・多様な勤務時間、勤務シフトを導入し、より幅広く必要な人材の確保に取り組みます。	<u>ウ 多様な採用方法と雇用形態の導入（小項目）</u> ・経験者採用試験の実施など迅速・柔軟な人材確保 ・多様な勤務時間、勤務シフトの導入検討	<p>【迅速・柔軟な人材確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法人化のメリットを生かし、通常の採用試験とは別に年度中途から勤務開始することを条件とした採用試験を、看護師、臨床検査技師、理学療法士、臨床工学技士で各 1 回実施した。 <p>【多様な勤務時間、勤務シフトの導入検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務の実態に対応するため、早出勤務、遅出勤務の開始時間を随時見直した。 ○ 子育てと仕事との両立を支援するため、現場や育児短時間勤務職員からの意見を聴きながら、職員にとって働きやすい勤務形態を導入している。また、育児休業から復帰する際、個別・丁寧に面談を行い、制度の周知を図った。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
<u>エ 医師確保の推進（小項目）</u> 臨床研修プログラムの充実や指導体制の整備等に取り組み、臨床研修医や後期研修医の受入拡大、定着を図ります。	<u>エ 医師確保の推進（小項目）</u> ・臨床研修病院としての研修プログラムの充実等による臨床研修医の確保	<p>【研修プログラムの充実等による臨床研修医の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市民病院、安佐市民病院では、臨床研修医師向け病院説明会に参加し研修プログラムを P R するとともに、指導医体制強化のため指導医資格取得講習会に医師を派遣し、それらの指導医を中心に研修プログラムの充実を図った。 ○ 「協力型臨床研修病院」である舟入市民病院では、基幹型臨床研修病院である広島大学病院臨床実習教育研修センターなどから、初期臨床研修医を受け入れた。 ○ 広島市民病院では、新専門医制度において内科、小児科、外科、産婦人科、麻酔科、病理診断科、救急科については研修基幹病院としてのプログラム申請を行うとともに、その他の科に関しては岡山大学病院、広島大学病院等の連携施設として専攻医を受け入れるための申請を行った。 ○ 安佐市民病院では、新専門医制度において内科、総合診療科については研修基幹病院としてのプログラム申請を行うとともに、その他の科に関しては広島大学病院の連携施設として専攻医を受け入れるための申請を行った。 ○ 4 学会から教育研修施設の認定を受けているリハビリテーション病院では、各学会の研修プログラムを充実して受入体制を整えた。また、広島大学病院の協力型臨床研修指定病院となり、新専門医制度において広島大学病院の連携施設として専攻医を受け入れるための体制整備を開始した。 ○ 各病院において、以下のとおり、平成 28 年度の臨床研修医を受け入れた。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価						評価委員会による評価																																																
	年度計画	評価理由等						記号	評価理由・コメント等	記号																																														
		(臨床研修医受入状況) (単位:人)																																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th><th colspan="3">平成 27 年度</th><th colspan="3">平成 28 年度</th></tr> <tr> <th>初期研修</th><th>後期研修</th><th>合計</th><th>初期研修</th><th>後期研修</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>27</td><td>62</td><td>89</td><td>29</td><td>53</td><td>82</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>13</td><td>28</td><td>41</td><td>17</td><td>21</td><td>38</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>15</td><td>—</td><td>15</td><td>13</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td><td>—</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>58</td><td>91</td><td>149</td><td>59</td><td>75</td><td>134</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成 27 年度			平成 28 年度			初期研修	後期研修	合計	初期研修	後期研修	合計	広島市民病院	27	62	89	29	53	82	安佐市民病院	13	28	41	17	21	38	舟入市民病院	15	—	15	13	—	13	リハビリテーション病院	3	1	4	—	1	1	合計	58	91	149	59	75	134						
区分	平成 27 年度			平成 28 年度																																																				
	初期研修	後期研修	合計	初期研修	後期研修	合計																																																		
広島市民病院	27	62	89	29	53	82																																																		
安佐市民病院	13	28	41	17	21	38																																																		
舟入市民病院	15	—	15	13	—	13																																																		
リハビリテーション病院	3	1	4	—	1	1																																																		
合計	58	91	149	59	75	134																																																		
<u>オ 看護師確保の推進（小項目）</u> 広島市立看護専門学校や他の看護師養成機関等との連携強化を図り、優れた看護師の確保に取り組みます。	<u>オ 看護師確保の推進（小項目）</u> ・ガイダンス等への積極的な参加など、受験者増につながる取組の推進 ・随時募集の実施 ・看護師養成機関への働きかけの強化	<p>【ガイダンス等への積極的な参加等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 採用試験受験者の拡大を図るため、各病院において説明会を開催し、看護師採用情報誌主催の就職ガイダンスへ参加するとともに、看護師養成施設 12か所に対しては理事長等が訪問し、連携強化、受験生の確保について協力を依頼した。 ○ 現場の実態に即した看護師の募集が可能となり、平成 28 年度は通常の 7 月の採用試験のほかに 10 月に採用試験を実施した。 ○ 合格後の採用辞退をできるだけ少なくするため、採用試験の合格者を対象に、平成 28 年 10 月に採用内定者合同懇談会を、同年 12 月から平成 29 年 2 月までの間に配属病院による採用内定者懇談会を実施した。 <p>(平成 28 年度採用試験受験者数、合格者数、採用者数) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th><th>採用者数</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 28 年 7 月実績</td><td>184</td><td>135</td><td>110</td><td>うち、前倒し採用 8 人</td></tr> <tr> <td>平成 28 年 10 月実績</td><td>56</td><td>34</td><td>23</td><td>うち、前倒し採用 2 人</td></tr> </tbody> </table>	区分	受験者数	合格者数	採用者数	備考	平成 28 年 7 月実績	184	135	110	うち、前倒し採用 8 人	平成 28 年 10 月実績	56	34	23	うち、前倒し採用 2 人	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3																																				
区分	受験者数	合格者数	採用者数	備考																																																				
平成 28 年 7 月実績	184	135	110	うち、前倒し採用 8 人																																																				
平成 28 年 10 月実績	56	34	23	うち、前倒し採用 2 人																																																				
<u>カ 看護師等の安定的な職場定着の推進（小項目）</u> 看護師等の職場への定着を図るため、意欲的に働くことができる働きやすい職場環境づくりや指導体制の充実に取り組みます。	<u>カ 看護師等の安定的な職場定着の推進（小項目）</u> ・看護師の負担軽減を図る 看護補助者の再編	<p>【看護師の負担軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護師の負担を軽減し、安定的な職場定着を図るため、広島市民病院では、平成 28 年 5 月から、37 人の業務員による清潔・排泄・食事などの介助業務を開始した。同年 12 月からはシフト制を導入し、7 時 30 分から 21 時までの介助業務ができるようにした。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3																																																			

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価																
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号														
	<ul style="list-style-type: none"> ・育児短時間勤務制度の維持等 ・各病院の実情に応じた指導体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安佐市民病院では、平成 28 年 6 月から、23 人の業務員による清潔・排泄・食事などの介助業務を開始し、7 時から 21 時までを 3 シフトで勤務し、身体ケアの介助ができるようにした。更に祝日勤務を開始した。 ○ 舟入市民病院では、看護補助者を対象とした業務の質向上を図るための研修会（年 4 回）を行った。 <p>【育児短時間勤務制度の維持等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てと仕事との両立を支援するため、現場や育児短時間勤務職員からの意見を聴きながら、職員にとって働きやすい勤務形態を導入している。育児休業から復帰する際、個別・丁寧に面談を行い、制度の周知を図った。 <p>【各病院の実情に応じた指導体制の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院の看護部、看護科において、目標管理面接手法などにより看護師の定期的な面談を実施し、適切な指導を行った。 ○ 看護総合アドバイザーと各病院の看護部長等が毎月看護アドバイザーミーティングを行い現状と課題を協議しており、その中で指導体制についても検討を行った。 																	
<u>キ 病院間の人事交流の推進 (小項目)</u> 各病院が必要とする人材を市立病院全体で確保・育成するため、病院間の人事交流を推進します。	<u>キ 病院間の人事交流の推進 (小項目)</u> ・人事交流の推進	<p>【人事交流の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病院機構全体で職員を確保・育成するため、平成 28 年度は以下のようない院間の異動を行った。 <p>(平成 28 年度病院間異動者数)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>異動者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16 人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	異動者数	看護師	4 人	薬剤師	5 人	診療放射線技師	4 人	理学療法士	2 人	作業療法士	1 人	計	16 人	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
区分	異動者数																		
看護師	4 人																		
薬剤師	5 人																		
診療放射線技師	4 人																		
理学療法士	2 人																		
作業療法士	1 人																		
計	16 人																		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 人材の確保、育成

(2) 事務職員の専門性の向上

中期目標	医療制度改革や診療報酬改定、医療需要の変化等に迅速かつ的確に対応するため、戦略的な病院経営を企画・立案できる事務職員を確保するとともに、研修の充実などにより専門性の向上を図ること。
------	--

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価																																												
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号																																										
(2) 事務職員の専門性の向上	(2) 事務職員の専門性の向上																																														
<u>ア 病院経営に関する知識・経験を有する人材の民間等からの採用（小項目）</u> 事務長をはじめとする事務職員について、病院経営や医療事務等に精通した人材の民間等からの採用について検討します。	<u>ア 病院経営に関する知識・経験を有する人材の民間等からの採用（小項目）</u> ・病院経営に精通した人材の民間等からの採用に係る調査及び採用手法等の検討	<p>【病院経営に精通した人材の民間等からの採用】</p> <p>○ 平成28年度は、病院勤務経験のある者が含まれなかつたが、病院経営に精通した人材を育成するため、プロバー事務職員9人を採用した(市派遣職員との切替え6人、増員3人)。</p>	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3																																										
<u>イ 法人職員の計画的な採用と育成（小項目）</u> ・広島市からの派遣職員を法人が採用する職員に段階的に切り替え、病院経営、医療事務に係る専門知識を有する職員の確保を図ります。	<u>イ 法人職員の計画的な採用と育成（小項目）</u> ・法人採用職員の計画的な採用	<p>【法人採用職員の計画的な採用】</p> <p>○ 平成28年度は、病院勤務経験のある者が含まれなかつたが、病院経営に精通した人材を育成するため、プロバー事務職員9人を採用した(市派遣職員との切替え6人、増員3人)。</p> <p>(平成26・27・28年度市派遣職員から法人採用職員の切替え) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>市派遣職員数</th> <th>平成26年度 法人採用人数</th> <th>平成27年度 法人採用人数</th> <th>平成28年度 法人採用人数</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務職</td> <td>88</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>6</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>24</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>栄養士</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>心理療法士</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>127</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>13</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	区分	市派遣職員数	平成26年度 法人採用人数	平成27年度 法人採用人数	平成28年度 法人採用人数	差引	事務職	88	9	8	6	65	薬剤師	9	3	6		—	臨床検査技師	24	9	8	7	—	栄養士	4	1	3		—	心理療法士	2	1	1		—	計	127	23	26	13	65	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
区分	市派遣職員数	平成26年度 法人採用人数	平成27年度 法人採用人数	平成28年度 法人採用人数	差引																																										
事務職	88	9	8	6	65																																										
薬剤師	9	3	6		—																																										
臨床検査技師	24	9	8	7	—																																										
栄養士	4	1	3		—																																										
心理療法士	2	1	1		—																																										
計	127	23	26	13	65																																										

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価 評価理由等	評価委員会による評価	
	年度計画		記号	評価理由・コメント等
・病院事務に関する専門研修への参加、各市立病院の事務職員同士の研修や情報交換を通じて事務職員の専門性の向上を図ります。	・医療事務に係る専門研修への参加や法人内の研修の実施などによる事務職員の専門性の向上	<p>【事務職員の専門性の向上】</p> <p>○ 事務職員に対しては、本部事務局が新規採用職員研修を実施したほか、各病院で医療クラークを対象とした実務研修、医事課職員を対象に診療報酬請求、DPC（診断群分類包括医療制度）の分析に関する研修などを実施し、専門性の向上を図った。</p>		
<u>ウ 経営コンサルタント等の活用（小項目）</u> 効果的な経営戦略を企画立案するため、必要に応じて医療経営コンサルタント等の活用を検討します。	<u>ウ 経営コンサルタント等の活用（小項目）</u> ・医療経営コンサルタント等の活用検討	<p>【医療経営コンサルタント等の活用検討】</p> <p>○ 病院総合情報システムの更新、導入に合わせ、原価計算システムの導入も進めることとしており、引き続き、必要に応じて医療経営コンサルタントの活用も含め、これまで以上に経営の視点をもった病院運営に取り組んだ。</p>	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 3

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 人材の確保、育成

(3) 研修の充実

中期目標	ア 医療スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、院内研修の充実や各種学会・研修会への参加、派遣研修など多様な研修機会の拡充を図ること。また、各種の資格取得のための研修参加を促進すること。
	イ 教育研修機能の充実を図り、臨床研修医及び後期研修医を積極的に受け入れること。また、広島市立看護専門学校やその他の関係教育機関等との連携を強化し、優れた看護師等の医療スタッフの確保、育成に努めること。

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	
(3) 研修の充実	(3) 研修の充実				
ア 多様な研修機会の提供と 参加しやすい環境づくり <u>(小項目)</u> 院内研修の充実、各種学会・研修会への参加の促進、新たな派遣研修の創設など、多様な研修機会の提供と参加しやすい環境づくりに取り組みます。	ア 多様な研修機会の提供と 参加しやすい環境づくり <u>(小項目)</u> ・院内研修の充実	<p>【院内研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規採用者に対して、オリエンテーションを実施するとともに、分野ごとに医療現場で一日も早く戦力として働くことができる人材の育成を目的とした研修を実施した。 ○ 医療スタッフが日々高度化する医療知識、技術を身に付けていくため、がん研修会やがんセミナー、基礎看護技術研修会、臨床検査研修会など専門分野に関する研修会、多職種を対象とした感染対策研修会、リスクマネジメント研修会等を実施した。 ○ 全職員を対象として、接遇研修やメンタルヘルス研修を実施した。 ○ 広島市民病院では、産業カウンセラーによる管理者向け「メンタルヘルス研修」を実施した。 ○ 安佐市民病院では、看護師長、主任看護師を対象にモチベーション向上と部下育成能力の向上について、看護総合アドバイザーによる講演会を開催した。 ○ リハビリテーション病院では、地域リハビリテーション支援及び医療介護連携を目的とした院外講師による研修会、また広島県安佐南警察署の指導の下に、不審者対応を想定した防犯訓練を実施した。 <p>【院外学会・研修参加機会の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国内の学会や研修会等への参加を進めるだけでなく、世界規模の学会で、市立病院における治療内容等を発表したり、世界レベルの最新の知見に触れる機会を与えるため、国際学会への派遣も行った。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の合同研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 舟入市民病院では、事務職員の幅広い知識向上のため、できるだけ専門研修への参加に努めた。特に医事担当では、9名の職員が平成 28 年度は 90 回参加し、担当内で研修成果の共有を図った。 <p>【合同研修会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法人の新規採用者全員に対して、職場への円滑な適応を図るため、職員倫理・人権問題・メンタルヘルスなど、社会人として必要な心構えについて研修を行った。 ○ メンタルヘルス研修会（4 病院合同）を、2 回開催した。 			
<u>イ 資格研修参加の促進（小項目）</u> 専門資格取得のための教育研修への参加を支援します。	<u>イ 資格研修参加の促進（小項目）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・専門資格取得のための教育研修参加の支援 	<p>【専門資格取得のための教育研修参加の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資格取得を促進するため、専門教育を受けるための費用を法人が負担し教育研修参加の支援を行った。その結果、広島市民病院 2 人、リハビリテーション病院 1 人の看護師が新たに認定看護師の資格を取得し、4 病院合計で認定看護師数は 56 人、専門看護師数は 1 人（がん専門、広島市民病院）となった。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
<u>ウ 新規採用看護師等に対する指導・研修の充実（小項目）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・教育担当看護師を配置し、新規採用の看護師への指導や研修の充実を図ります。 ・広島市立看護専門学校や他の関係教育機関等からの看護実習生等の受け入れを拡大するため、教育研修機能の充実を図ります。 	<u>ウ 新規採用看護師等に対する指導・研修の充実（小項目）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・教育担当看護師による指導の実施 ・研修プログラムの拡充 	<p>【教育担当看護師による指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市民病院では 3 名体制で、安佐市民病院では 1 名体制で、教育担当看護師が新規採用看護師等の教育担当として指導、研修を行った。 <p>【研修プログラムの拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護実習生を指導するに当たり、指導者に広島県の実習指導者講習会を受講させ、実習指導する看護師の教育に取り組んだ。 ○ 新規採用者に対する研修に力を注いだほか、中途採用者、市立病院間の異動者に対しても研修を実施した。 ○ 看護師長及び主任看護師等に対する管理研修を年に複数回実施するなど充実を図るとともに、大学等外部からの講師を招き、講演会、研修会を実施した。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
	・看護業務に関し豊富な経験を有する外部有識者招へい	<p>【外部有識者の招へい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護業務に関し豊富な経験を有する看護総合アドバイザーを招へいし、各病院看護部の現状及び課題を協議した。 ○ 院内の看護師長、主任看護師を対象にモチベーション向上と部下育成能力の向上を図ることや、医師と看護師の協調について、看護総合アドバイザーによる講演会（1回）を開催した。 			

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

3 弾力的な予算の執行、組織の見直し

- (1) 弾力的な予算執行
- (2) 契約手法及び契約に係る執行体制の見直し
- (3) 施設整備に係る執行体制の見直し
- (4) 病院の維持管理体制の見直し

中期目標	地方独立行政法人制度の利点を十分に生かし、弾力的な予算執行、多様な契約手法の導入を進めるとともに、医療需要等の変化に即して、迅速・柔軟に組織や人員配置を見直すこと。
------	--

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
3 弾力的な予算の執行、組織の見直し（大項目） 地方独立行政法人制度の利点を十分に生かし、弾力的な予算執行、多様な契約手法の導入を進めるとともに、医療需要等の変化に即して、迅速・柔軟に組織や人員配置を見直します。	3 弾力的な予算の執行、組織の見直し（大項目）				
(1) 弾力的な予算執行（小項目） ・機動力のある予算措置や病院実態に即した弾力的な予算執行を行い、効率的かつ効果的な業務運営を行います。 ・各病院長への適切な権限配分に基づき、病院長のリーダーシップの下で迅速かつ的確な予算執行を行います。	(1) 弾力的な予算執行（小項目） ・病院実態に即した弾力的な予算執行 ・各病院長への適切な権限配分	<p>【弾力的な予算執行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市民病院の病理支援システムや内視鏡情報システムの更新を電子カルテの更新時期に合わせて前倒しするなど、事業の進捗や病院の実情に応じて弾力的な予算執行を行った。 ○ また、平成28年度予算編成において、各病院長の意見を反映させて、医療機器整備計画を病院の実態や必要性に応じて見直し、前倒し整備等を行った。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
(2) 契約手法及び契約に係る執行体制の見直し（小項目） <ul style="list-style-type: none"> ・長期・複合契約の対象範囲の拡大や価格交渉落札方式などの多様な契約手法を導入し、競争性の向上及び費用の縮減を図ります。 ・公正性・透明性を損ねない範囲で、物品調達等に係る随意契約の適用範囲を拡大し、契約事務の機動性の向上及び効率化を図ります。 ・本部事務局に契約事務を統括する部署を設置し、契約事務の適正化及び効率化を図ります。 	(2) 契約手法及び契約に係る執行体制の見直し（小項目） <ul style="list-style-type: none"> ・長期・複合契約の推進 ・価格交渉落札方式の運用状況の検証、調達推進 	<p>【長期・複合契約による費用の縮減】</p> <p>○ 人事給与システム等の購入及びシステム運用・保守業務について、長期・複合契約により一括発注し、調達コスト及び管理コストの削減を図った。 また、施設維持管理業務等毎年度継続して実施している業務については、経費の削減及び事務の軽減の視点から、複数年契約を基本とし、これまで単年度契約していた業務委託 5 件について、複数年契約に切り替え経費の削減及び事務の軽減を図った。</p> <p>【価格交渉落札方式の運用状況の検証、調達推進】</p> <p>○ 平成 27 年度に続き、予算額 2 千万円以上の医療機器 10 件について価格交渉落札方式により調達を行った。このうち、7 件について価格交渉を行い、購入価格の低減が図られ一定の成果を上げたことから、今後は、業務委託への適用も視野に対象範囲の拡大を検討することとした。</p>	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
(3) 施設整備に係る執行体制の見直し（小項目） <ul style="list-style-type: none"> 本部事務局に建設工事等の発注を担当する部署を設置するとともに、積算、監督及び検査業務の一部を民間委託することにより、各病院の施設整備を迅速、適切に行うための体制を整備します。 	(3) 施設整備に係る執行体制の見直し（小項目） <ul style="list-style-type: none"> ・CM（コンストラクション・マネジメント）方式の活用による迅速、適切な各病院の施設の整備 ・安佐市民病院整備室の設置 	<p>【CM方式の活用】</p> <p>○ CM方式を活用し、病院からの要望や入札不調にも迅速に対応し、平成 28 年度には設計業務 10 件と工事 15 件を発注して各病院の施設整備を行った。</p> <p>【安佐市民病院整備室の設置】</p> <p>○ 本部事務局内に安佐市民病院整備室を設置し、専任職員 9 名を配置することで執行体制の強化を図った。</p>	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
(4) 病院の維持管理体制の見直し（小項目） 委託業者を含めた病院の維持管理関係者の連絡会議を設置するなど、病院内の各種業務間の連携の強化を図り、維持管理がより効果的、効率的に行えるよう病院の維持管理体制の見直しに取り組みます。	(4) 病院の維持管理体制の見直し（小項目） ・維持管理関係者による連絡会議の運営 ・施設設備長寿命化計画の推進	<p>【維持管理関係者による連絡会議の運営】</p> <p>○ 建物総合管理方式の導入により、施設維持管理業務の受託業者を主体とする連絡会議の設置や、統括管理責任者の配置等により、業務間の連携強化が図られ、効果的・効率的な病院の維持管理が行える体制構築の見通しがついた。</p> <p>【施設設備長寿命化計画の推進】</p> <p>○ 病院維持管理関係者会議を開催し、平成 28 年度長寿命化工事の実施に当たって課題の整理・検討を行い、効果的・効率的に工事を実施した。</p>	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり

(1) 病院の実態に即した人事・給与制度の構築

中期目標	病院で働く医療スタッフ等が意欲的に働くことができるよう、法人の経営状況を踏まえつつ、職員の勤務実態や貢献度が適正に評価される人事・給与制度を構築すること。		
------	---	--	--

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
4 意欲的に働くことのできる、 働きやすい職場環境づくり（大項目）	4 意欲的に働くことのできる、 働きやすい職場環境づくり（大項目）				
(1) 病院の実態に即した人事・ 給与制度の構築（小項目） 職員の給与制度は、広島市に準じたものとします。また、病院職員が意欲的に働くことができるよう、法人の経営状況を踏まえつつ、勤務実態に応じた手当の新設など、職員の勤務実態や貢献度が適正に評価される人事・給与制度を構築します。	(1) 病院の実態に即した人事・ 給与制度の構築（小項目） ・勤務実態に応じた手当の新設、見直し	【勤務実態に応じた手当の新設、見直し】 ○ 給与制度について、広島市に準じ、平成28年4月に総合的見直しを行った。 また、広島市人事委員会の勧告に鑑み、給与制度の改正を行った。	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり

(2) 適切な役割分担と業務の負担軽減

中期目標	病院の実態に即して、医療スタッフの業務を補完する補助職員の採用等により、適切な役割分担の下、医療スタッフの負担軽減を図ること。		
------	---	--	--

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
(2) 適切な役割分担と業務の負担軽減（小項目） 医療クラークや看護補助者等、医療スタッフが行う業務を補助する職員を増員し、医療スタッフの負担軽減を図るとともに、迷惑患者等に対応する専門職員を配置するなど、業務に専念できる職場環境の整備に取り組みます。	(2) 適切な役割分担と業務の負担軽減（小項目） ・医療スタッフが行う業務を補助する職員の配置	<p>【業務を補助する職員の配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病棟の看護師の負担を軽減するため、広島市民病院では、平成28年5月から37人の業務員による清潔・排泄・食事などの介助業務を開始した。 ○ 安佐市民病院では、平成28年6月から、23人の業務員による清潔・排泄・食事などの介助業務を開始した。 ○ 医療クラークについて、広島市民病院で1名の増員を行った。各病院のクラークの再編については、他の事務室職員との業務分担、病院間のバランス等を踏まえ、引き続き検討することとした。 ○ リハビリテーション病院については、課題である病棟介護士の確保について、嘱託職員等を正規職員化するとともに、定数を4名増員し、平成29年度に向けた正規職員の採用による体制の整備を進めている。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり

(3) ワーク・ライフ・バランスの推進

中期目標	子育て支援の充実など、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むこと。		
------	------------------------------------	--	--

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
(3) ワーク・ライフ・バランスの推進	(3) ワーク・ライフ・バランスの推進				
<u>ア 子育てと仕事との両立の支援（小項目）</u> 育児短時間勤務制度の維持や院内保育の充実など、職員の子育てと仕事との両立を支援します。	<u>ア 子育てと仕事との両立の支援（小項目）</u> ・育児短時間勤務制度の維持 - ・院内保育等の運営	<p>【育児短時間勤務制度の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てと仕事との両立を支援するため、現場や育児短時間勤務職員からの意見を聴きながら、職員にとって働きやすい勤務形態を導入している。育児休業から復帰する際、個別・丁寧に面談を行い、制度の周知を図った。 <p>【院内保育等の運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 院内保育の運営を引き続き行った。 ○ 子育てと仕事との両立を支援するため、育児短時間勤務職員等へ夜間保育に関する意識調査を実施した。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
<u>イ 時間外勤務の削減（小項目）</u> 時間外勤務、休日勤務の削減等に取り組み、職員の健康保持や子育てを支援します。	<u>イ 時間外勤務の削減（小項目）</u> ・職員への意識啓発の取組	<p>【職員への意識啓発の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月、全職員の時間外勤務時間数をチェックし、基準時間数を超えて勤務した職員には産業医による面談を受けさせることで、超過勤務が心身に与える悪影響や時間外削減の必要性についての意識啓発、メンタルサポートに努めた。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3
<u>ウ メンタルヘルス対策の実施（小項目）</u> 職員の心の健康対策として、過重労働による健康障害の防止のための教育・研修の実施、相談体制の整備、職場復帰支援等を推進します。	<u>ウ メンタルヘルス対策の実施（小項目）</u> ・職員への意識啓発の取組 ・相談体制の整備	<p>【職員への意識啓発の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各病院にメンタルヘルス部会を設置し、メンタルヘルスに関する様々な問題点について議論し、職員間での意識啓発を図った。 ○ 新人オリエンテーションにおいて、産業医、保健師、心理療法士によるメンタルヘルスの講演を行うとともに、全職員を対象に外部講師によるメンタルヘルス研修会を開催した。 <p>【相談体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員のストレスチェックを行い、職員のメンタル状況を把握するとともに、 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価														
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号													
	<p>・職場復帰の支援等</p> <p>・ストレスチェックの実施</p>	<p>相談窓口の周知を図り、産業医、保健師等が必要な相談、助言を行った。</p> <p>【職場復帰の支援】</p> <p>○ 職場復帰にあたっては、復帰が円滑に行えるよう、必要に応じて産業医と連携して復帰計画を立て、復帰訓練中は随時、復帰後も定期的に面談し、再発防止に努めた。</p> <p>【ストレスチェックの実施】</p> <p>○ 広島市民病院では、全職員を対象にストレスチェックを 2 回実施（6 月及び 11 月）した。ハイリスク該当者には保健師が個別に相談窓口を案内し、希望者に面談・電話・メールなどで対応した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>6 月</th><th>11 月</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合健康リスク</td><td>110 人</td><td>113 人</td></tr> <tr> <td>ハイリスク該当者</td><td>33 人</td><td>43 人</td></tr> <tr> <td>ハイリスク率</td><td>2.0%</td><td>2.7%</td></tr> </tbody> </table> <p>○ 安佐市民病院では、平成 28 年 12 月に全職員を対象にストレスチェックを実施し、総合健康リスクは全国平均 100 に対して 105 であった（ハイリスク該当者は 176 人、実施者の 17% で、該当者には保健師が相談日の設定等を行った。）。</p> <p>○ 舟入市民病院では、平成 28 年 11 月に全職員を対象にストレスチェックを実施し、実施率は、61.6% であった。ストレスチェックの充実を図る必要があることから、平成 29 年度は、設問数やハイリスク該当者の設定について見直すこととしている。</p> <p>○ リハビリテーション病院では、平成 29 年 1 月に全職員を対象にストレスチェックを実施し、総合健康リスクは全国平均 100 に対して 86 であった（ハイリスク該当者は 14 人、実施者の 9.6% で、該当者には産業医が個別に相談を促した。）。</p> <p>【ハラスメント対策の実施】</p> <p>○ 職員のハラスメントについて、早期に対応し、その被害の防止を図るため、ハラスメント対策基本方針及びハラスメント相談対応マニュアルを作成し、ハラスメント相談員を設置するとともに、職員への周知を図った。</p>	区分	6 月	11 月	総合健康リスク	110 人	113 人	ハイリスク該当者	33 人	43 人	ハイリスク率	2.0%	2.7%				
区分	6 月	11 月																
総合健康リスク	110 人	113 人																
ハイリスク該当者	33 人	43 人																
ハイリスク率	2.0%	2.7%																

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

5 外部評価等の活用

中期目標	会計監査人による監査、広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会による評価等に加え、患者等利用者の意見を踏まえ、法人の業務運営の改善を図ること。
------	---

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
5 外部評価等の活用（大項目）	5 外部評価等の活用（大項目）				
会計監査人による監査等（小項目） 会計監査人による監査、評価委員会による評価等の結果を踏まえ、速やかに対応を検討し、必要な業務運営の改善に取り組みます。また、病院運営の透明性を高めるため、その結果や対応について、ホームページ等を活用して積極的に公開します。	会計監査人による監査等（小項目） ・監査等の結果を踏まえた業務運営の改善及びその公表	<p>【監査等の結果を踏まえた業務運営の改善及びその公表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 監事監査規程に基づき、「平成28年度業務監査実施要領」により、4病院の実地監査及び書類監査を行った（平成28年10月～平成29年2月）。 ○ 会計監査人による、コンプライアンス、棚卸し、決算など会計に係る監査を行った。 ○ 会計規程に基づき、本部事務局職員が、毎月、本部事務局及び各病院において、現金残高の確認等の内部監査（自主監査）を実施した。 ○ 会計監査、監事監査の結果は、理事長が報告を受けた後、理事会へ説明、報告をした上で、広島市に報告するとともに公表した。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

経営の安定化の推進

- (1) 中期目標期間中の経常収支の黒字の維持
- (2) 診療科別・部門別の収支状況の把握と迅速な対応
- (3) 経費の削減
- (4) 収入の確保

中期目標	ア 法人の経営努力だけでは維持することが困難な公共性の高い医療を提供するために必要となる経費については、引き続き広島市が負担するが、広島市経費負担後の中期目標期間中の経常収支の黒字を維持すること。
	イ 適正な在院日数や病床の管理、診療報酬改定への的確な対応、適切な未収金対策に引き続き取り組むとともに、長期契約など多様な契約手法の導入による調達コストの削減など、地方独立行政法人制度の利点を生かした効率的な病院運営を行うこと。

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価																				
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号																		
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置																						
経営の安定化の推進（大項目）	経営の安定化の推進（大項目）																						
(1) 中期目標期間中の経常収支の黒字の維持（小項目） 公共性の高い医療を提供するために必要な広島市からの運営費負担金の交付の下、中期目標期間中の経常収支の黒字を維持します。	(1) 中期目標期間中の経常収支の黒字の維持（小項目） ・経営状況・分析を踏まえた病院運営の実施	<p>【経営状況・分析を踏まえた病院運営の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月開催する経営会議において、各病院の経営指標の現状と課題及びその対応策を報告し、意見交換を行って健全な病院運営を行うよう努めた。 ○ 各病院で経営改善に向けての対応を行い、平成28年10月には本部事務局が収支改善アイディアを募集し、収支の改善が早期に見込まれ、その効果が大きいと考えられるものについて、実現できるよう各病院で検討を進めた。 ○ 各病院で経営改善に向けての対応を行い、広島市民病院においては、経営改善計画を策定した。 	2	経常収支比率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。	2																		
【目標値】 (単位：%)	【目標値】 (単位：%)	【実績】 (単位：%)																					
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度 実績</th> <th>平成29年度 目標値</th> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>102.5</td> <td>100.6</td> </tr> </table>	区分	平成24年度 実績	平成29年度 目標値	経常収支比率	102.5	100.6	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度 目標値</th> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>100.0</td> </tr> </table>	区分	平成28年度 目標値	経常収支比率	100.0	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度 実績</th> <th>平成27年度 実績</th> <th>平成28年度 実績</th> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>102.2</td> <td>98.9</td> <td>98.4</td> </tr> </table>	区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績	経常収支比率	102.2	98.9	98.4			
区分	平成24年度 実績	平成29年度 目標値																					
経常収支比率	102.5	100.6																					
区分	平成28年度 目標値																						
経常収支比率	100.0																						
区分	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績																				
経常収支比率	102.2	98.9	98.4																				
※経常収支比率 = (経常収益／経常費用) × 100	※経常収支比率 = (経常収益／経常費用) × 100	※経常収支比率 = (経常収益／経常費用) × 100																					

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等
(2) 診療科別・部門別の収支状況の把握と迅速な対応（小項目） 各病院の診療科別、部門別の収支状況を、常時把握、分析し、迅速に対応策を検討、実施します。	(2) 診療科別・部門別の収支状況の把握と迅速な対応（小項目） 各病院の診療科別、部門別収支状況を把握・分析し、迅速な対応策を検討・実施	<p>【診療科別・部門別の収支状況の把握と迅速な対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 27 年度の病院総合情報システムの更新、導入に合わせ、診療科別・部門別などの原価計算システムの導入を進めた。なお、平成 29 年度から運用することとしている。 <p>また、広島市民病院及び安佐市民病院に、病院の経営分析、経営改善を専任で行う企画課を平成 27 年 4 月に新設し、平成 28 年度は、広島市民病院においては、平成 28 年度の診療報酬改定に伴い、新規取得施設基準 7 項目、新規取得手術手技 5 項目及び上位の施設基準への変更 2 件の届出により、総額約 2 億 7 千万円の増収を得た。</p> <p>地域における広島市民病院の診療実績を把握するため、全国、中四国地方、広島県内及び広島医療圏内における D P C 則請求病院との各種比較（症例件数、在院日数、再入院率、手術等治療実績、救急搬送件数及び転帰状況等）を行い、資料に取りまとめ、院内に公表した。</p> <p>安佐市民病院においては、病院経営コンサルタントの協力と助言を得て、各部門のヒアリングの実施、請求漏れや D P C データを活用した経営改善に関する資料を作成して「経営企画会議」での問題提起、平成 28 年度の診療報酬改定により計数化された「病院情報の公表」を行った。また、新病院の移転新築に向けて、機構本部施設整備担当部署、基本計画受託者と協議を行う病院の窓口を担当し、調整を行った。</p> <p>【手術室及びカテーテル検査室での診療科別原価計算の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 術式ごとのコスト等を可視化し、手術室及びカテーテル検査室の運用の効率化及び診療材料費の再検討を行うことにより収支状況の改善を図るため、外部委託による診療科別原価計算の検討を行った。 ○ 広島市民病院では、手術に関係する診療科を 4 グループに分け、具体的な術式ごとの原価計算や診療材料費等のデータを示して医師のコスト意識向上を図るとともに、術式ごとに必要となる診療材料の手術準備リストの適正化と業務の効率化を図った。（医療情報室） 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 3
(3) 経費の削減（小項目） ・長期契約など多様な契約手法の導入により競争性を高め、調達コストの削減を図ります。	(3) 経費の削減（小項目） ・長期・複合契約の推進	<p>【長期・複合契約の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人事給与システム等の購入及びシステム運用・保守業務について、長期・複合契約により一括発注し、調達コスト及び管理コストの削減を図った。 <p>また、これまで単年度契約していた業務委託 5 件について、複数年契約に切り替え、経費の削減及び事務の軽減を図った。</p>	4	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 3

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号	
<ul style="list-style-type: none"> ・各病院で使用する医薬品や診療材料の品目の共通化を進め、共同購入の拡大等に取り組みます。 ・診療経費の節減や患者負担の軽減の観点から、後発医薬品の採用拡大に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格交渉落札方式による調達推進 ・複数病院で同種の医療機器を購入する場合の共同購入の推進 ・契約課と薬剤部共同による医薬品の価格交渉の実施 ・診療材料の償還差益の大きい品目への切替推進 ・後発医薬品の採用拡大 	<p>【価格交渉落札方式による調達推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予算額 2 千万円以上の医療機器 10 件について、価格交渉落札方式により調達を行い、うち 7 件について価格交渉を行った結果、5,168 千円の購入価格の低減が図られた。 <p>【複数病院で同種の医療機器を購入する場合の共同購入の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 複数病院における共同購入については、予算編成時に各病院に働き掛けを行うとともに、同一病院内で調達する複数の医療機器については、可能な限り同一規格に統一し、発注時期を合わせることでスケールメリットを生かした価格交渉を行った。 <p>【契約課と薬剤部共同の価格交渉の実施による薬品費削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医薬品について、契約課と薬剤部共同による価格交渉を実施した結果、薬価改定が実施された平成 28 年度の値引率は 14.6% となり、年度当初に設定した目標数値 14.3% をクリアするとともに、前回薬価改定が実施された平成 26 年度の値引率 13.3% と比較して 1.3 ポイントの上昇となった。 ※平成 27 年度に販売開始された薬価が高額な C 型肝炎治療薬分を除く。 <p>【診療材料の償還差益の大きい品目への切替え及び品目の共通化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 循環器内科、整形外科、脳神経外科及び心臓血管外科で使用するカテーテル等の保険償還材料について、保険適用区分ごとにまとめて価格交渉を行うとともに、その結果を償還差益の大きいものから降順にリスト化し、各病院へ配付した。 また、病院負担材料についても、4 病院で使用するサージカルキャップの統一を行うなど、廉価版への切替え及び品目の共通化の推進を図った。 <p>【後発医薬品の採用拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 後発医薬品の採用拡大について、4 病院とも先発医薬品から後発医薬品への切替えを推進し、目標値を達成した。 				

中期計画	平成 28 年度 年度計画	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価					評価委員会による評価																																																			
		評価理由等				記号	評価理由・コメント等	記号																																																		
【目標値】後発医薬品採用品目比率 (単位: %)	【目標値】後発医薬品採用品目比率 (単位: %)	【実績】後発医薬品採用品目比率 (単位: %)																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 24 年度 実績</th> <th>平成 29 年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>7. 1</td><td>14. 0</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>10. 0</td><td>16. 0</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>11. 9</td><td>17. 0</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>20. 6</td><td>22. 0</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成 24 年度 実績	平成 29 年度 目標値	広島市民病院	7. 1	14. 0	安佐市民病院	10. 0	16. 0	舟入市民病院	11. 9	17. 0	リハビリテーション病院	20. 6	22. 0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 28 年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>14. 0</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>16. 0</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>20. 0</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>22. 0</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成 28 年度 目標値	広島市民病院	14. 0	安佐市民病院	16. 0	舟入市民病院	20. 0	リハビリテーション病院	22. 0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 25 年度 実績(3月末)</th> <th>平成 26 年度 実績(3月末)</th> <th>平成 27 年度 実績(3月末)</th> <th>平成 28 年度 実績(3月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td><td>7. 1</td><td>14. 1</td><td>15. 4</td><td>15. 6</td></tr> <tr> <td>安佐市民病院</td><td>11. 9</td><td>15. 5</td><td>17. 0</td><td>20. 2</td></tr> <tr> <td>舟入市民病院</td><td>11. 3</td><td>17. 3</td><td>21. 6</td><td>23. 0</td></tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td><td>21. 3</td><td>23. 3</td><td>26. 1</td><td>27. 2</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成 25 年度 実績(3月末)	平成 26 年度 実績(3月末)	平成 27 年度 実績(3月末)	平成 28 年度 実績(3月末)	広島市民病院	7. 1	14. 1	15. 4	15. 6	安佐市民病院	11. 9	15. 5	17. 0	20. 2	舟入市民病院	11. 3	17. 3	21. 6	23. 0	リハビリテーション病院	21. 3	23. 3	26. 1	27. 2						
区分	平成 24 年度 実績	平成 29 年度 目標値																																																								
広島市民病院	7. 1	14. 0																																																								
安佐市民病院	10. 0	16. 0																																																								
舟入市民病院	11. 9	17. 0																																																								
リハビリテーション病院	20. 6	22. 0																																																								
区分	平成 28 年度 目標値																																																									
広島市民病院	14. 0																																																									
安佐市民病院	16. 0																																																									
舟入市民病院	20. 0																																																									
リハビリテーション病院	22. 0																																																									
区分	平成 25 年度 実績(3月末)	平成 26 年度 実績(3月末)	平成 27 年度 実績(3月末)	平成 28 年度 実績(3月末)																																																						
広島市民病院	7. 1	14. 1	15. 4	15. 6																																																						
安佐市民病院	11. 9	15. 5	17. 0	20. 2																																																						
舟入市民病院	11. 3	17. 3	21. 6	23. 0																																																						
リハビリテーション病院	21. 3	23. 3	26. 1	27. 2																																																						
※採用品目比率 = (後発医薬品目数 / 医薬品目数総数) × 100	※採用品目比率 = (後発医薬品目数 / 医薬品目数総数) × 100	※採用品目比率 = (後発医薬品目数 / 医薬品目数総数) × 100																																																								
・医療の質の向上、医療安全の確保、患者サービスの向上などに十分に配慮した上で、職員の適正配置、時間外勤務の削減などを行い、適正な人件費の維持に努めます。	・職員の適正配置、時間外勤務の削減等による適正な人件費の維持	【適正な人件費の維持】 ○ 職員の適正配置等により、適正な人件費の維持に努めた。																																																								
【目標値】 (単位: %)	【目標値】 (単位: %)	【実績】 (単位: %)																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 26 年度 予算</th> <th>平成 29 年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td><td>54. 9</td><td>54. 1</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成 26 年度 予算	平成 29 年度 目標値	給与費対医業収益比率	54. 9	54. 1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 28 年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td><td>55. 3</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成 28 年度 目標値	給与費対医業収益比率	55. 3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 26 年度 実績</th> <th>平成 27 年度 実績</th> <th>平成 28 年度 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td><td>52. 2</td><td>52. 6</td><td>53. 7</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績	給与費対医業収益比率	52. 2	52. 6	53. 7																																						
区分	平成 26 年度 予算	平成 29 年度 目標値																																																								
給与費対医業収益比率	54. 9	54. 1																																																								
区分	平成 28 年度 目標値																																																									
給与費対医業収益比率	55. 3																																																									
区分	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績																																																							
給与費対医業収益比率	52. 2	52. 6	53. 7																																																							
※給与費対医業収益比率 = (給与費 / 医業収益) × 100	※給与費対医業収益比率 = (給与費 / 医業収益) × 100	※給与費対医業収益比率 = (給与費 / 医業収益) × 100																																																								
※給与費は、退職手当を除く。	※給与費は、退職手当を除く。	※給与費は、医業費用の給与費から退職給付費用を除いた額																																																								
※第 1 期中期目標期間の給与費対医業収益比率は、法人化による運営体制強化のため、職員の増員等に積極的に取り組むことから、平成 26 年度予算の比率と比較することとした。																																																										
(4) 収入の確保 (小項目)	(4) 収入の確保 (小項目)	【疾病動向の変化や診療報酬改定への対応】 ○ 診療報酬改定に関する調査・分析・検証を行うとともに、施設基準取得のため、職員配置等の検討や必要な研修へ医師等を派遣するなど、収入確保に向けた取組を進めた。																																																								
・今後の疾病動向や診療報酬改定の情報収集、分析を行い、それらに迅速かつ的確に対応した病院経営を行います。	・疾病動向の変化や診療報酬改定への対応		3	広島市民病院及び安佐市民病院の病床利用率が年度計画を下回っているものの、4 病院とも医療費個人負担分の収納率が平成 27 年度より向上しており、全体としては年度計画を順調に実施していると認められるため、「3」と評価し	3																																																					

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価			評価委員会による評価																																																			
	年度計画	評価理由等		記号	評価理由・コメント等	記号																																																		
・地域の医療機関との役割分担と連携の下、適正な在院日数や病床の管理を行い、診療報酬収入の確保に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な入退院調整を図る医療支援センターの体制強化等 ・医療機能の充実を図る施設整備の迅速化 ・365日リハビリテーション医療の提供（リハビリテーション病院） 	<p>【医療支援センターの体制強化等】</p> <p>○ 広島市民病院では、平成 27 年 8 月に医療支援センター内に入院支援室を開設し、平成 28 年度は対応診療科を当初の 3 科から 12 科に拡大することで、病棟業務の効率化を図った。安佐市民病院でも平成 28 年 4 月に医療支援センター内に、産婦人科、小児科、精神科以外の全ての科を対応診療科とする入院支援センターを開設し、病棟業務の効率化を図った。広島市民病院と安佐市民病院の病床利用率は目標を上回ることはできなかったが、いずれの病院も入院収入はほぼ平成 27 年度並み又は平成 27 年度を上回ることができた。</p> <p>【施設整備の迅速化】</p> <p>○これまで別発注していた設計・工事の業務を原則として一括発注するなど、施設整備の迅速化を図った。</p> <p>【365 日リハビリテーション医療の提供】</p> <p>○ リハビリテーション病院は、365 日リハビリテーション医療を提供した。患者 1 人当たりリハビリテーション実施単位数は 7.9 単位と目標値の 8.0 単位を若干下回ったが、病床利用率は 96.5% と目標を達成し、增收を維持した。</p>		た。																																																				
【目標値】病床利用率（単位：%）	【目標値】病床利用率（単位：%）	【実績】病床利用率（単位：%）																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 24 年度 実績</th> <th>平成 29 年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院 (一般病床)</td> <td>96.4</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>87.7</td> <td>88.6</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院 (内科、外科)</td> <td>72.9</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td> <td>92.0</td> <td>96.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成 24 年度 実績	平成 29 年度 目標値	広島市民病院 (一般病床)	96.4	96.4	安佐市民病院	87.7	88.6	舟入市民病院 (内科、外科)	72.9	80.0	リハビリテーション病院	92.0	96.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 28 年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院 (一般病床)</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>90.1</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院 (内科、外科)</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td> <td>96.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成 28 年度 目標値	広島市民病院 (一般病床)	97.5	安佐市民病院	90.1	舟入市民病院 (内科、外科)	80.0	リハビリテーション病院	96.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 25 年度 実績</th> <th>平成 26 年度 実績</th> <th>平成 27 年度 実績</th> <th>平成 28 年度 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院 (一般病床)</td> <td>94.1</td> <td>95.6</td> <td>96.4</td> <td>95.8</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>84.8</td> <td>87.4</td> <td>84.0</td> <td>85.7</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院 (内科、外科)</td> <td>75.4</td> <td>78.8</td> <td>76.6</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td> <td>94.1</td> <td>95.7</td> <td>96.1</td> <td>96.5</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成 25 年度 実績	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績	広島市民病院 (一般病床)	94.1	95.6	96.4	95.8	安佐市民病院	84.8	87.4	84.0	85.7	舟入市民病院 (内科、外科)	75.4	78.8	76.6	82.9	リハビリテーション病院	94.1	95.7	96.1	96.5				
区分	平成 24 年度 実績	平成 29 年度 目標値																																																						
広島市民病院 (一般病床)	96.4	96.4																																																						
安佐市民病院	87.7	88.6																																																						
舟入市民病院 (内科、外科)	72.9	80.0																																																						
リハビリテーション病院	92.0	96.0																																																						
区分	平成 28 年度 目標値																																																							
広島市民病院 (一般病床)	97.5																																																							
安佐市民病院	90.1																																																							
舟入市民病院 (内科、外科)	80.0																																																							
リハビリテーション病院	96.0																																																							
区分	平成 25 年度 実績	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績																																																				
広島市民病院 (一般病床)	94.1	95.6	96.4	95.8																																																				
安佐市民病院	84.8	87.4	84.0	85.7																																																				
舟入市民病院 (内科、外科)	75.4	78.8	76.6	82.9																																																				
リハビリテーション病院	94.1	95.7	96.1	96.5																																																				
※病床利用率 = (入院延べ患者数 / 診療日数) ÷ 病床数		※病床利用率 = (入院延べ患者数 / 診療日数) ÷ 病床数																																																						
※入院延べ患者数は退院日を含む。		※入院延べ患者数は退院日を含む。																																																						
※舟入市民病院の病床利用率は、小児科病床を除く内科、外科の病床利用率		※舟入市民病院の病床利用率は、小児科病床を除く内科、外科の病床利用率																																																						
・診療報酬制度に基づく適正な診療、事務処理を徹底し、	・診療報酬制度に基づく適正な診療及び事務処理の徹底	<p>【診療報酬制度に基づく適正な診療及び事務処理の徹底】</p> <p>○ 診療報酬の支払基金等への請求に当たっては、医師及び事務職員による診</p>																																																						

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価																																														
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号																																													
<p>請求漏れの解消、査定減（診療報酬を支払基金等に請求した際の減額）の縮減を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入の確保及び公平性の観点から、医療費個人負担分に係る未収金の発生防止に取り組むとともに、回収困難な事案については弁護士法人への回収委託等を行うなど、発生した未収金の早期回収に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費個人負担分に係る未収金の発生防止及び早期回収 ・人間ドックの充実（舟入市民病院） 	<p>療の妥当性や算定誤りのチェックを行い、適正な請求に努めている。また、査定資料を医師に情報提供し、請求漏れや査定減の縮減に努めている。</p> <p>【医療費個人負担分に係る未収金の発生防止及び早期回収】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 従来から医療費個人負担分に係る未収金の発生防止に取り組むとともに、回収困難な事案については弁護士法人への回収委託等を行うなど、発生した未収金の早期回収に取り組み、収納率は、リハビリテーション病院以外は目標を達成することができた。 <p>【人間ドックの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 舟入市民病院では、平成 28 年 2 月に全国健康保険協会の生活習慣病予防健診実施機関となるとともに人間ドックのパンフレットを更新するなど広報に努め、健診者数の増を図った。 <p>契約団体数：平成 27 年度 35 団体 → 平成 28 年度 45 団体</p>																																																
<p>【目標値】医療費個人負担分の収納率（単位：%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 24 年度 実績</th> <th>平成 29 年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td> <td>94.4</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>93.3</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院</td> <td>91.1</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td> <td>99.0</td> <td>99.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※現年分収納率と滞納繰越分収納率とを合わせた収納率</p>	区分	平成 24 年度 実績	平成 29 年度 目標値	広島市民病院	94.4	95.0	安佐市民病院	93.3	94.0	舟入市民病院	91.1	92.0	リハビリテーション病院	99.0	99.0	<p>【目標値】医療費個人負担分の収納率（単位：%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 28 年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院</td> <td>91.8</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td> <td>99.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※現年分収納率と滞納繰越分収納率とを合わせた収納率</p>	区分	平成 28 年度 目標値	広島市民病院	95.0	安佐市民病院	94.0	舟入市民病院	91.8	リハビリテーション病院	99.0	<p>【実績】医療費個人負担分の収納率 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 26 年度 実績</th> <th>平成 27 年度 実績</th> <th>平成 28 年度 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広島市民病院</td> <td>95.6</td> <td>95.5</td> <td>96.6</td> </tr> <tr> <td>安佐市民病院</td> <td>94.9</td> <td>94.0</td> <td>94.3</td> </tr> <tr> <td>舟入市民病院</td> <td>92.0</td> <td>92.0</td> <td>93.5</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション病院</td> <td>96.9</td> <td>95.6</td> <td>96.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※現年分収納率と滞納繰越分収納率とを合わせた収納率</p>	区分	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績	広島市民病院	95.6	95.5	96.6	安佐市民病院	94.9	94.0	94.3	舟入市民病院	92.0	92.0	93.5	リハビリテーション病院	96.9	95.6	96.8			
区分	平成 24 年度 実績	平成 29 年度 目標値																																																
広島市民病院	94.4	95.0																																																
安佐市民病院	93.3	94.0																																																
舟入市民病院	91.1	92.0																																																
リハビリテーション病院	99.0	99.0																																																
区分	平成 28 年度 目標値																																																	
広島市民病院	95.0																																																	
安佐市民病院	94.0																																																	
舟入市民病院	91.8																																																	
リハビリテーション病院	99.0																																																	
区分	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績																																															
広島市民病院	95.6	95.5	96.6																																															
安佐市民病院	94.9	94.0	94.3																																															
舟入市民病院	92.0	92.0	93.5																																															
リハビリテーション病院	96.9	95.6	96.8																																															

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充

中期目標	耐震性の向上と老朽化・狭隘化の解消、高度で先進的な医療機能の拡充等への対応を図るため、安佐市民病院の建替えを進めること。また、建替えに当たっては、広島市と十分に連携して取り組むこと。
------	---

中期計画	平成28年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価	評価委員会による評価		
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充（大項目）	第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充（大項目）				
安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充（小項目）	安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充（小項目） (平成28年度の取組) (1) 基本的な考え方 耐震性の向上と老朽化・狭隘化の解消、高度で先進的な医療機能の拡充等を図るために、安佐市民病院の建替えを進めます。 建替えに当たっては、高度で先進的な医療機能、災害拠点病院としての機能及びべき地医療機関としての機能を荒下地区に、日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等を広島市、関係機関と協議しながら、現在の北館に整備します。 (2) 整備する場所 ア 高度で先進的な医療機能 広島市安佐北区亀山南一丁目「荒下地区」（敷地面積 約40,000m ² ）	<p>【執行体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本部事務局内に安佐市民病院整備室を設置し、専任職員9名を配置することで執行体制の強化を図った。 <p>【建替え業務の着実な推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 荒下地区、現在地の建替え業務の状況は、次のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ① 荒下地区 <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の策定 事業費 18,468千円 ・基本設計の策定等 事業費 240,000千円 ② 現在地 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の北館に整備する病院の医療機能等の検討 <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市との共催による地元説明会を平成28年4月に可部地区で開催したことを見越して、同年8月と平成29年3月に安佐北区内4地区（可部、安佐、白木、高陽）で開催し、安佐市民病院の機能分化整備の進捗状況を説明することで、地域住民の理解を深めた。 	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	3

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価			評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等		記号	評価理由・コメント等	記号
イ 日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等 広島市安佐北区可部南二丁目「現在地」(敷地面積 約 10, 000m ²)						
2 荒下地区に整備する病院 (1) 担うべき医療の基本的な方向性 ア 高度で先進的な医療の拡充 イ 災害拠点病院としての機能の拡充 ウ 県北西部地域等の病院支援と患者の受け入れの拡充 (2) 整備スケジュール						



中期計画	平成28年度		地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価						評価委員会による評価	
	年度計画		評価理由等						記号	評価理由・コメント等
(3) 整備費										
(単位:百万円)										
区分	今期中期計画				次期中期計画 (30年度~33年度)		合 計			
基本計画	20			(20)				20		
建替整備費	基本設計		180		(180)			180		
	工事監理等		60	50	(110)		820	930		
	実施設計			400	(400)			400		
	建設費					20,490	20,490			
	小計		240	450	(690)		21,310	22,000		
	土地購入費					1,920	1,920			
	医療機器購入費					7,330	7,330			
		240	450	(690)		30,560	31,250			
	合計	20	240	450	(710)		30,560	31,270		
財源	運営費負担金		120	10	(130)		575	705		
	長期借入金			430	(430)		29,210	29,640		
	自己財源	20	120	10	(150)		575	725		
	補助金(へき地)					200	200			
(注) 平成29年度以降は、消費税率(地方消費税率を含む。)10%として整備費を見込んでいる。										
3 現在の北館に整備する病院										
(1) 担うべき医療の基本的な方向性										
日常的に高齢者などの地域住民が受診できる医療機能等の拡充										
(2) 整備スケジュール										
今期中期計画				次期中期計画						
26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度			
				↔ 整備計画	↔ 設計	↔ 改修工事	→			
								H34年春開設 (見込み)		

中期計画	平成 28 年度	地方独立行政法人広島市立病院機構による自己評価		評価委員会による評価	
	年度計画	評価理由等	記号	評価理由・コメント等	記号
(3) 整備費 (単位：百万円)					
	区分	次期中期計画 (30 年度～33 年度)			
整備費	基本設計	15			
	工事監理等	15			
	実施設計	40			
	建設費	920			
	合計	990			
財源	運営費負担金	7			
	長期借入金	975			
	自己財源	8			